

鳥海ダムだより



国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

2004.7
第8号



「鳥海いこいの森」 の実現を

東由利町長 阿部 幸悦

出羽丘陵で一番高い山が我が町の八塩山です。戦中・戦後の食糧難の時代に先人たちは、この山に降る雪をねらってダムを造り農業用水に構想し、これが昭和38年には放水開始の実現を見て本荘・東由利の大きな水瓶の「八塩ダム」となりました。

ダムの周辺を賑やかにしたいとまた先人たちは思ったことです。コツコツと植え始められた桜を見て、行政もそれではと本腰をいれて植栽をしたと言います。

小さい苗木がやっと花をつけた時、注文したソメイヨシノ桜に混じり見たことのない黄色帶びた桜花が咲いているのを不思議がり、苗木屋を呼び詰問したと言う笑い話が八塩黄桜の始まりでした。

そして、この赤い八重桜に混じる黄色い花を自分達だけで独占するにはもったいないと商工会青年部の人たちが思い、行動したのが我が町の春を象徴する「黄桜まつり」の始まりであります。今では、「東由利町です」と言うより、

「黄桜の里です」の方が通りが良いと言われします。

春の八塩山頂のぶな、黄桜、秋のこれも植栽された紅葉と、八塩ダムの周辺は文字通りの「いこいの森」に整備がされています。

また冬には、かくれた? ワカサギ釣りの名所となり湖面に穴を開けて釣りを楽しむ人も多いことです。

この八塩一帯の目に染みるような緑もある秋の紅葉も、八塩ダムの水と一体化してさらに映えるものであり、水の存在の大きさを改めて思わされることです。

秀麗無比なる鳥海山の雪をダムに溜め由利本荘の大きな水瓶となる「鳥海ダム」の構築はまた、周辺を「八塩いこいの森」の何十倍もの「鳥海いこいの森」にと、無限の可能性を構想することができます。

この構想の一日も早い実現化を強く願って止まないものであります。

平成16年度 鳥海ダム事業説明会

(4月27日)

鳥海町百宅の防雪センターにおいて、鳥海町百宅地区の方々を対象に、平成16年度の鳥海ダム事業説明会が開催されました。

説明会では、今後のダム実施計画調査の予定や、今年度に行われる各種調査内容等について説明を行い、鳥海ダム事業についてのご理解とご協力をお願いしました。



鳥海町長 佐藤源一氏



百宅水没生活対策会代表 小野昭八氏



鳥海町新緑まつり

(6月6日)

晴れ渡った青空の下、毎年恒例の「鳥海町新緑まつり」が鳥海町の健康広場にて開催されました。

このまつりは、春の農作業が一段落する6月に毎年開催されており、今回で17回目を数えました。

会場には鳥海町内外から大勢の人が訪れ、勇壮な「笛子月山太鼓」のオープニングから幕を開けた新緑まつりは、百宅そばの早食いや鳥海舞踏会の踊り、歌謡ショー等の各種イベントで、最後まで大いに盛り上りました。



佐藤源一・鳥海町長による開会の挨拶



会場には約4000人が訪れました



「百宅そばの早食い大会」は、女性は800g、男性は1kgのそばの早食いに挑み、そのタイムを競います。



鳥海ダム調査事務所からも何名かが挑戦しましたが、運ばれてきた1kgのそばの量に一同呆然。参加者曰く、「見ただけでお腹一杯」とのこと。

鳥海ダムコーナー

鳥海ダム調査事務所では、会場内に「鳥海ダムコーナー」を設けて鳥海ダムをPRすると共に、サッカーゲームやキーホルダーの作成で、皆さんと一緒に楽しい一時を過ごしました。



鳥海ダム調査事務所は『ISO14001』の認証取得に取り組んでいます

平成16年4月9日、この春から当事務所に転入した職員を対象に、ISO14001認証取得を目指とした指名書交付式が事務所内にて行われました。

5月には転入職員を含めた全職員への研修会も実施され、ダム調査事務所としては日本初のISO14001取得を年内に実現するために、鳥海ダム調査事務所の全職員が一丸となって環境の保全・改善、及び汚染の予防に取り組んでいきます。

— 転入者を対象とした指名書交付式 —



— 認証取得に向けた研修のようす —



ISO14001
とは?

ISO14001とは、人間が環境に与える影響を適切に把握し、「環境への悪影響を削減する」「環境の保全を推進する」といった目標を達成するため、計画や実施を継続的に改善していく国際規格のことです。

法体の滝

靈峰鳥海山からその源を発し『日本の滝100選』にも選ばれている鳥海町の法体の滝は、秋田県の名勝として、県外にも広くその名を知られ、毎年多くの観光客がこの地を訪れています。

一の滝、二の滝、三の滝からなるその合計落差は約57.4mにもなり、清流の澄んだ水が轟音と共に末広がりに流れ落ちる様は、まさに「絶景」との表現が良く似合います。

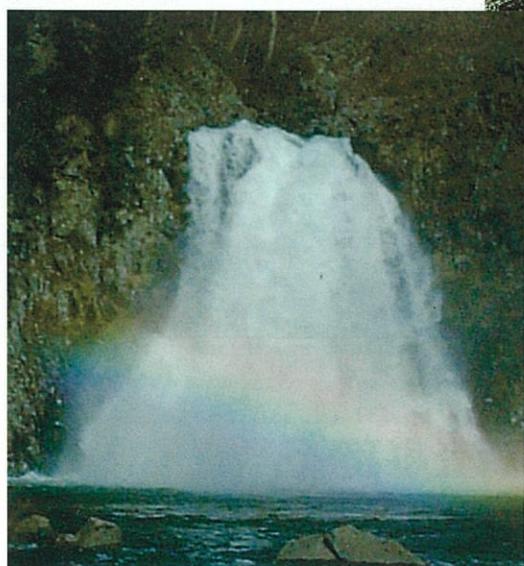
私が4月に訪れた時には、春の雪解け水により流れ落ちる水の量も多く、滝にはまるで七色の化粧を施したように、とてもきれいな虹が架かっていました。

末広がりに水が流れ落ちる様子が、法衣をまとった僧の姿に似ており、「法体の滝」の名前の由来と言われています。



これより上流にある一の滝、二の滝付近の川底には、甌穴（おうけつ）と呼ばれる大きな穴が隨所に見られ、県の天然記念物第一号に指定されています。

甌穴とは、川の流れによって川底の岩が削られ、そのくぼみに入った石が水流によって転がり、さらに周囲を削って丸く大きな穴になったもので、学術的に大変貴重なものと言われています。



転入者紹介



課名 調査設計課
調査設計課長
氏名 斎藤 明
前任地 新庄河川事務所
出身地 山形県新庄市

ひとこと

由利・本荘地域は初めての勤務となります。単身赴任となりますので、公私共々よろしくお願ひ致します。



課名 総務係長
氏名 阿部 淳
前任地 酒田河川国道事務所
出身地 由利郡大内町

ひとこと

初めての秋田県勤務となります。しかも地元ですが、右も左もわかりませんのでよろしくご指導の程を。



課名 補償調整課
補償調整係長
氏名 石川 慶
前任地 酒田河川国道事務所
出身地 宮城県富谷町

ひとこと

秋田勤務は初めてですので、地元の美味しいものから色々と勉強していきたいと思います。



課名 調査設計課
設計係
氏名 小野 一
前任地 長井ダム工事事務所工務課
出身地 北海道札幌市

ひとこと

運動不足解消のため、スポーツをやりたいと思っています。なんでもお誘い下さい。



課名 調査設計課
調査係
氏名 大山 幸裕
前任地 月山ダム管理所
出身地 秋田県仙北町

ひとこと

前任地の庄内地方から見える鳥海山ですが、秋田側から見ても大変魅力的ですね。



課名 非常勤
氏名 亀山 祐子
出身地 本荘市

ひとこと

仕事を通じて本荘由利のよいところを再発見していかなければいいなと思っています。よろしくお願ひいたします。

編集後記

今年度から「鳥海ダムだより」の編集担当となりました。

当所の事業である鳥海ダム関係の情報を中心に、近隣市町村のイベントの様子などを交えて、皆様に興味を持って頂けるような紙面作りを目指していきたいと思います。これからもどうぞ宜しくお付き合い下さい。

今回は東由利町長から巻頭言をご寄稿頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

鳥海ダム調査事務所では、子吉川の源流を調査するため、鳥海山への登山を計画していますので、次号ではその様子を報告したいと思います。

編集・発行

国土交通省東北地方整備局鳥海ダム調査事務所

〒015-0001 秋田県本荘市出戸町字給人町13-4 TEL.0184-23-5120 FAX.0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>

e-mailアドレス chokai@thr.mlit.go.jp